

March 25, 2020

【前日の為替概況】ドル円、米景気刺激策への期待感、ダウ平均+2112ドルを受け 111.71 円へ

24日のニューヨーク外国為替市場でドル円は横ばい。終値は111.23円と前営業日NY終値(111.23円)とほぼ同水準。新型コロナウイルス対策として検討されている2兆ドルの米景気刺激策の議会通過が近いとの期待から、ダウ平均が2112ドル上昇し過去最大の上げ幅を記録すると、投資家の過度なリスク回避姿勢が後退し円売り・ドル買いが広がった。2月米新築住宅販売件数が年率換算で76.5万件と予想の75.0万件を上回ったほか、3月米リッチモンド連銀製造業景気指数がプラス2と予想のマイナス15より強い数字となったこともドルの追い風となり、111.71円と2月21日以来約1カ月ぶりの高値を付けた。もっとも、市場では「世界的に株高が進む中、金融市場の混乱に伴うドル資金確保の動きはいったん和らいだ」との声も聞かれ、引けにかけては上げ幅を縮めた。

主要7カ国(G7)財務相・中央銀行総裁は電話会議後に「信頼感と経済成長を回復させ、雇用と企業を守り、金融システムの復元力を保全するために必要なあらゆることを実施する」との声明を発表した。

ユーロドルは続伸。終値は1.0788ドルと前営業日NY終値(1.0726ドル)と比べて0.0062ドル程度のユーロ高水準。米連邦準備理事会(FRB)が無制限の量的緩和策を導入したことを受けて、ドル需給ひっ迫への警戒感が後退しユーロ買い・ドル売りが先行し、1.0888ドルまで上昇した。ただ、新型コロナ感染拡大に対する大型経済対策を米議会が可決するとの期待に支えられ、米株と米金利が上昇すると徐々にユーロ売り・ドル買いが優勢に。良好な米経済指標もドル買いを促し、1.0746ドル付近まで反落した。

ユーロ円は4日続伸。終値は119.99円と前営業日NY終値(119.31円)と比べて68銭程度のユーロ高水準。米国株や日経平均先物の上昇を受けて、投資家のリスク志向改善に伴う円売り・ユーロ買いが出た。1時過ぎに一時120.54円と日通し高値を付けた。ナイト・セッションの日経平均先物は前日終値比770円高の1万9040円まで買われる場面があった。

【本日の東京為替見通し】ドル円、日米株価指数上昇と年金外債投資枠拡大報道で底堅い展開

本日の東京市場のドル円は、米議会で2兆ドル規模の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う大型経済対策の早期可決観測が高まっていることや年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が運用資産に占める外国債券の目標値を現在の15%から25%に引き上げる見通しとの報道を受けて底堅い展開が予想される。

昨年末の運用資産が169兆円に上る世界最大の年金基金GPIFが、外債投資枠を10%拡大した場合、4月以降からのドル円の買い要因となる。

ドル円の上値を抑える要因としては、3月期末決算に向けた本邦機関投資家などによるレパトリエーション(国外滞留資金の本国環流)が挙げられる。

ダウ平均は、米連邦準備理事会(FRB)の無制限的緩和や2兆ドル規模のコロナ対策景気法案の早期可決期待から、史上最大の上昇幅(+2112.98ドル・+11.37%)を記録した。

米国の株式市場で「恐怖指数」と言われる「ボラティリティ・インデックス(VIX)」も、3月18日の高値85.47から60台まで低下しており、ボルマゲドン(ボラティリティ・インデックス+アルマゲドン)が席卷した12兆ドル規模のマージン・コール(追証)、ドル資金の争奪戦は終了しつつある。しかしながら、金融・資本市場の混乱は終息しつつあるものの、新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)が終息を迎えるまでは、実体経済の回復は望めず、リセッション(景気後退)への懸念は払拭されないことで、予断を許さない状況は続くことになる。さらに、2008年9月のリーマンショックの後の景気対策を巡る米議会の確執や景気対策に即効性がなかったことも懸念材料となる。2008年9月29日、米下院はポールソン米財務長官が提案した7000億ドルのバズーカ砲(不良資産救済プログラムTARP)を否決し、ダウ平均は史上最大の下げ幅(▲777.68ドル)を記録して10365.45ドルで引けた。10月1日に上院が修正・可決し、10月3日に下院も可決したものの、ダウ平均は2009年3月6日の6469.95ドルまで続落しており、バズーカ砲には即効性はなかった。

ナイト・セッションの日経平均先物は一時的に19040円まで上昇しており、本日も堅調推移が予想される。しかし、日本経済は、2019年10-12月期実質GDPは前期比年率-7.1%、2020年1-3月期も新型コロナウイルスの影響でマイナス成長、4-6月期も東京オリンピックの延期により低迷することが懸念されており、日経平均株価の上値は限定的だと思われる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

008:50 ◇ 日銀金融政策決定会合における主な意見（3月16日分）

<海外>

016:00 ◎ 2月英消費者物価指数（CPI、予想：前月比0.3%／前年比1.7%） ◎ CPI
コア指数（予想：前年比1.5%）

◇ 小売物価指数（RPI、予想：前月比0.5%／前年比2.5%）

◎ 卸売物価指数（PPI、食品とエネルギーを除くコア指数、予想：前年比0.5%）

020:00 ◇ MBA住宅ローン申請指数

021:30 ◎ 2月米耐久財受注額（予想：前月比▲0.8%／輸送用機器を除く前月比▲0.4%）

022:00 ◇ 1月米住宅価格指数（予想：前月比0.4%）

023:30 ◇ EIA週間在庫統計

026日 02:00 ◎ 米財務省、5年債入札

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

【前日までの要人発言】

24 日 05:40 ジョンソン英首相

「英国は必要不可欠な業務を除き店舗を閉鎖」
「全ての社会イベントを禁止」
「英国全体を 3 週間以上ロックダウン(都市封鎖)」

24 日 07:26 トランプ米大統領

「議会は景気刺激策の合意に近づいている」
「3-4 カ月先より前に米国はビジネスを再開する予定」
「15 日間の期限後に活動再開の是非を決定」
「ドル高は多くの点で良いが、貿易を困難にする面も」
「FRB に満足、正しい措置を取った」

24 日 12:01 黒田日銀総裁

「保有 ETF の含み損は、先週末時点で 2-3 兆円」

24 日 12:53 ムニューシン米財務長官

「景気刺激策の合意は非常に近いが、今晚の合意はない」

24 日 19:37 モリソン豪首相

「社会的活動の規制を拡大する」
「ショッピングセンターとフードコートを閉鎖」
「葬儀は 10 人以上参加しないときのみ可能」
「結婚式は 5 人以上参加しないときのみ可能」

24 日 20:01 アルトマイヤー独経済相

「リセッションは金融危機の時よりも深くなる公算が大」

24 日 21:14 安倍首相

「遅くとも 2021 年夏までに東京五輪開催で合意」
「100%パッハ会長の同意を得た」

24 日 22:14 麻生財務相

「G7 首脳声明を受け財務大臣電話会談を開催」
「G7 は医療に関して資金提供を行う」
「声明はまもなく米国から発表」

24 日 22:34 G7 声明

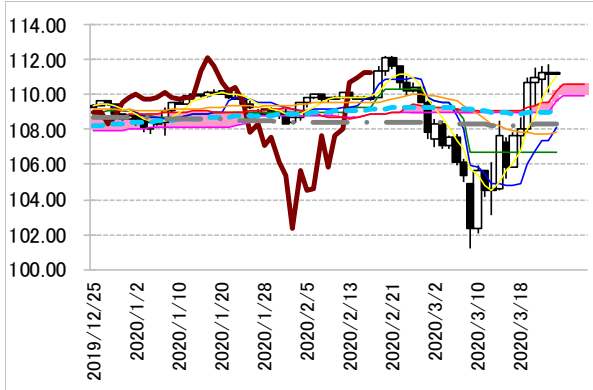
「経済成長の回復に向けて必要なことは何でも行う計画」

24 日 23:41 モディ・インド首相

「25 日午前 0 時から全国でロックダウン」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

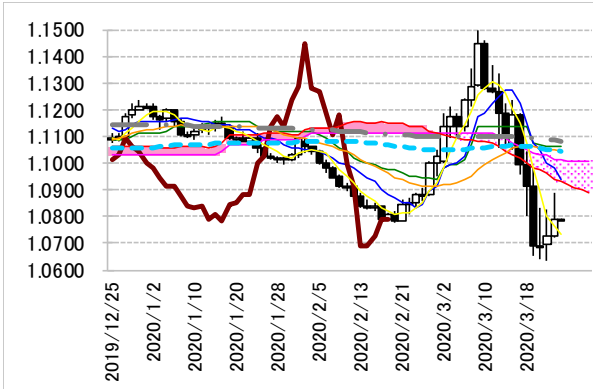


<ドル円=雲の上限を支持に押し目買いスタンス>

寄引同事線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。毛抜き天井 (112.23円・112.19円) を上抜けることが出来るか否かに要注目だが、高値圏での寄引同事線は反落の可能性を示唆していることで要警戒か。

本日は、雲の上限を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	112.40(2019/4/24 高値)
レジスタンス 1	112.23(2/20 高値)
前日終値	111.23
サポート 1	110.26(日足一目均衡表・雲の上限)
サポート 2	109.62(日足一目均衡表・雲の下限)

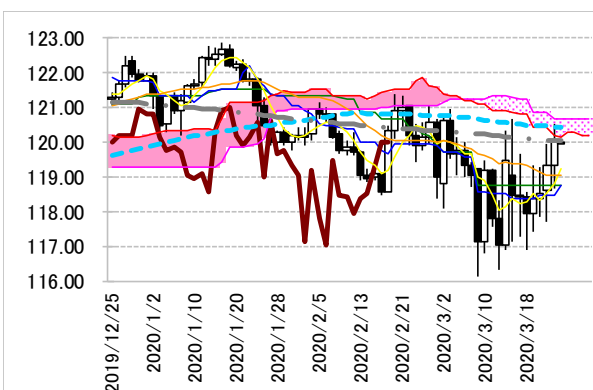


<ユーロドル=3/23 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。しかし、底値圏での2手連続陽線で、反発の可能性が示唆されている。

本日は、3月23日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.0888(3/24 高値)
前日終値	1.0788
サポート 1	1.0636(3/23 安値)

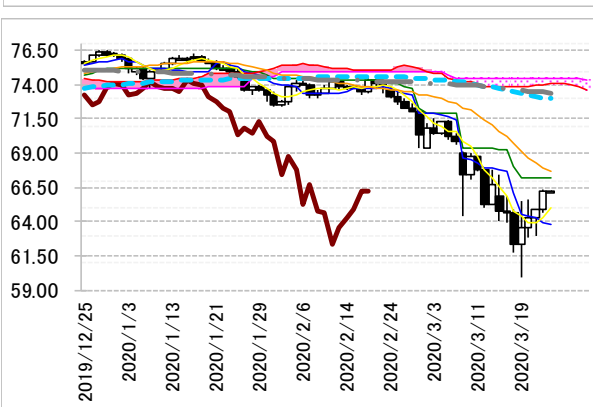


<ユーロ円=転換線・基準線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線と同値、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の下で引けているものの、一目・転換線を上回って引けていることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。4手連続陽線で上昇しており、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線=基準線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	120.67(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	119.99
サポート 1	118.77(日足一目均衡表・転換線=基準線)



<豪ドル円=5日移動平均線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。底値圏で4手連続陽線で反発しており、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、5日移動平均線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	67.19(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	66.27
サポート 1	65.06(5日移動平均線)

